

1 給食での地場産物活用について

ただいまの小菅<sup>こすげ</sup>桃佳<sup>ももか</sup>議員のご質問にお答え申し上げます。

給食での地場産物活用についてであります。いつも大好きな給食を楽しみにしていただいととてもうれしく思います。

利根調理場における地場産物の使用率であります。今年２６年４月から９月までの市内産は、使用した食材の重さで比較して２０．８％であり、県内産の２１．２％と併せ合計４２％を占めています。また、その食材は、キャベツ・大根・小松菜・パプリカ・りんごなどを使用しています。

小菅議員は、ご家族が丹精込めて農産物を作る様子を見て、地元産の食材は安心であると実感され、身近な給食への活用を考えたことは、とても素晴らしいことだと思います。

また、地域で生産された農産物を地域で消費しようとするを地産地消といいますが、このことは小菅議員ご指摘のとおり、生産者の

顔が見えることで、その食材を安心して食べることができ、さらには地域経済の活性化も図れるものであると考えます。

生産者の顔が見える地場産の旬の食材の使用を通して、安心と感謝の気持ちが育まれ、また、地域の自然や特産物等への理解を深めることは、食育の観点からも大切なことでもありますので、今後もできる限り地場産物を活用するよう努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、小菅桃佳<sup>ももか</sup>議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。